

自然保護寄附講座

専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JZ001	自然保護論	1	1.0	1 - 5	春B	木1,2		吉田 正人	自然保護の歴史と理念、生物種の保護、生態系の管理、保護地域の設定	教室: 人社B218 要望があれば英語で授業
02JZ002	地球環境論	1	1.0	1 - 5	秋AB	金3		指田 勝男	地球の歴史と環境保全、生命維持の基礎となる地球環境の保全	要望があれば英語で授業
02JZ003	保護地域管理論	1	1.0	1 - 5	秋AB	火3	人社B216	伊藤 太一	保護地域の計画及び管理の歴史と概念について概説する。特に米国に誕生した国立公園が世界に広まり、多様化する過程で生じた様々な課題について論じる。また、国際的保護地域カテゴリや、世界保護地域データベース(WDPA)の課題についてもふれる。	要望があれば英語で授業
02JZ004	景観・緑地保全論	1	1.0	1 - 5	秋ABC	随時		伊藤 弘, 黒田 乃生	自然環境やさらには住環境の基盤である緑地と、それらを視覚的に捉えた結果である景観の保全について、その意味するところと保全に対する考え方や手法を、事例を踏まえて概説する。また、実際に保全活動が行われている現場にてその実態を見学する。	11/19、16 他
02JZ005	自然遺産論	1	1.0	1 - 5	春A	木1,2	人社B218	吉田 正人	自然遺産保全の基礎となる自然保護、生物多様性保全を学ぶとともに、自然遺産と関連する保護地域制度と自然遺産の関連性についても考察する。	01EC565と同一。 01EC538と同一
02JZ006	生物多様性論	1	1.0	1 - 5	秋AB	水2	人社B216	佐伯 いく代	生物多様性の概念とその保全手法について、理論と実践の双方から理解を深めることを目的とします。生物多様性について生態学、社会学、環境教育など様々な観点から議論します。文系、理系問わず、いろいろな専門分野からの学生の履修を歓迎します。	
02JZ007	Wildlife Management	1	1.0	1 - 5	秋AB	火4		佐方 啓介	Wildlife management encompasses the conservation of threatened species, control of unwanted species, and sustainable harvest of resource species. We shall study principles and techniques of managing wild animals, which involves the investigation and manipulation of animal populations, habitats, and people. Through detailed investigation of selected cases from varied locations and situations, we shall discuss the application of wildlife management principles and practices worldwide.	英語で授業。 総合研究棟A205
02JZ008	モニタリング調査技術	1	1.0	1 - 5	秋C	集中		和田 茂樹, 武正 憲	モニタリングの意義、モニタリング調査の立案と実行、フィールド調査技術、データ解析。環境や生態系などの実態を把握する上で、モニタリングを以下に進めていくかが重要となる。本講義では、モニタリング調査の具体的事例を挙げると共に、計画の立案からデータ解析に至るまでの流れを内容に盛り込む。	教室: 人社B216
02JZ009	植生学	1	1.0	1 - 5	秋B	火1,2	理科系B107	上條 隆志, 川田 清和, 清野 達之	陸域を覆っている植生について理解するために、植生の種類、成立要因、分布などについて解説する。さらに、西アジアや内蒙古の植生の現状をスライドで解説する。また、理解を深めるために、実際に植生調査を体験する。	01AD432、01AH203と同一。 01AD432と同一
02JZ010	Vegetation Science	1	1.0	1 - 5	秋A	火1,2	理科系B107	上條 隆志, 川田 清和, 清野 達之	Vegetation is a major component of our landscape. In this course, students learn concepts of vegetation science, world vegetation, climatic and edaphical factors on distribution of plant communities, vegetation dynamics and human impacts on vegetation. Tropical rainforests, Japanese forests, deserts and grasslands are focused in this course. Students also learn field practices of vegetation survey.	01AD318、01AH204と同一。 英語で授業。 01AD318と同一

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JZ011	遺伝子多様性学	1	2.0	1 - 5	秋AB	金1, 2	生農G501	渡邊 和男, 河瀬真琴, 小口 太一	生物多様性の基盤となる遺伝的変異について、植物を主体例として、生物学的な観点から論じる。遺伝子多様性に関わる保全、産業利用や知的所有権について社会、経済、法律及び国際関係の観点を含め序説的に講述し、一般的理解を提供する。 生物多様性と遺伝的多様性の概論、21世紀の戦略的な国家資源としての遺伝資源の学際的論議、遺伝子多様性の生物学、遺伝的多様性の測定について遺伝学的理論及び分子生物学を主体とした測定技術の紹介、生物多様性の保全について学際的アプローチによる生息域内保全及び生息域外保全、ジーンバンク、バイオリソースセンターと植物園などの関係の紹介、保全の技術の解説及び遺伝的多様性の産業利用と国際的関心事項の総合討論を行い、基礎的理解を得る。	01A827と同一。 01A827 遺伝子多様性学と同一
02JZ012	International Conventions for Heritage Conservation(国際条約論)	4	1.0	1 - 5	春B	集中	人社B216	吉田 正人, 稲葉信子	Through an extensive lecture, which will tackle environment, heritage conservation and development, with case studies from various countries and regions around the world, we shall learn how we continue to live with heritage, how at times we need to fight for conservation and to respect sustainable livelihoods in the rapidly changing world.	6月15日、6月22日に開講予定 01EC552と同一。 英語で授業。 6/15, 6/22
02JZ013	Role of International Organizations and NGOs	4	1.0	1 - 5	春C	集中	人社B216	吉田 正人, 稲葉信子	We shall study the roles and actions of international agencies, including NGOs, which deal with the conservation of natural and cultural environment.	01EC548と同一。 英語で授業。 10/20-10/21 Christinevon Weizsaecker 01EC548・02ZY131と同一
02JZ014	International Cooperation for Environment	4	1.0	1 - 5	秋B	集中	人社B216	吉田 正人, 稲葉信子	Through cases of transnational cooperation, we shall learn the effects and challenges of international frameworks for cultural/natural heritage conservation.	01EC549と同一。 英語で授業。 7/21-7/22 David Sheppard 01EC549・02ZY132と同一
02JZ015	Citizens' Participation for Environment	4	1.0	1 - 5	秋C	集中	人社B216	吉田 正人, 稲葉信子	Through some case studies from abroad, we shall learn the role of communities in the conservation of cultural/natural heritage such as cultural landscapes.	01EC550と同一。 英語で授業。 Patricia Alberth(World Heritage Office in Bamberg)
02JZ016	Environment and Sustainability	4	1.0	1 - 5	秋A	集中	人社B216	吉田 正人, 稲葉信子	Is it possible to establish a sustainable society through conservation of cultural and natural heritage? Through various case studies from other Continents, we shall explore future directions.	01EC551と同一。 英語で授業。 Jordi Tresserras(University of Barcelona)
02JZ017	自然保護行政論	1	1.0	1 - 5	秋C	集中	人社B216	吉田 正人	自然保護行政に係る環境省自然保護局等の関係者による講義	渡邊綱男 前自然環境局長
02JZ018	自然保護法制度	1	1.0	1 - 5	秋BC	集中		吉田 正人	環境基本法、生物多様性基本法、自然環境保全法、自然公園法、文化財保護法、種の保存法等の理解	
02JZ019	環境影響評価	1	1.0	1 - 5	秋BC	集中		吉田 正人	環境影響評価制度実務者による講義、環境影響評価、戦略的環境影響評価(SEA)、生物多様性オフセット	
02JZ020	生態系の保全と復元	1	1.0	1 - 5	秋学期	集中		佐伯 いく代	森林、湿地、里山、海洋など様々な生態系の保全と復元について、最前線で活躍されている研究者の方々の話をうかがうことにより、こうした自然を守り、持続的に利用していくための理念と実践例について学ぶことを目的とする。 キーワード:自然保護、生物多様性、モニタリング、生態系サービス、気候変動	公開講座として開催します。一般参加者方と学生とが一緒に学ぶ形式の授業です。
02JZ021	自然保護教育と環境教育	1	1.0	1 - 5	春学期	随時		佐伯 いく代	自然保護分野における教育活動の意義と展望、具体手法などについて学びます。座学と野外実習の両方があります。 キーワード:環境教育、自然保護教育、インタープリテーション、サイエンスコミュニケーション、ESD(Education for Sustainable Development)	川嶋直氏 ハヶ岳で実施
02JZ022	自然保護セミナー	1	1.0	1 - 5	春BC秋A	随時	人社B216	佐伯 いく代, 佐方啓介, 和田 茂樹, 武 正憲	自然保護にかかわる様々なトピックについて、ゲストスピーカーの講演の聴講、グループディスカッション、エクスカージョン、学生による研究紹介などを通じ、理解を深める。	エクスカージョン(6/24-25)他

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
02JZ023	インタープリテーションとエコツーリズム	1	1.0	1 - 5	秋A	集中	人社 B216	武 正憲	自然遺産および文化遺産の価値を利用者にどのように伝えるのか、その技術や伝えるべき対象とする価値の捉え方について、実際の事例を通して考察する。	01EC559と同一。 飯能市 講義:10月4日(3・4限)
02JZ024	ジオパーク論	1	1.0	1 - 5	秋A	集中		久田 健一郎, 佐伯 いく代	国内外で指定が広がっているジオパーク制度について、座学とフィールドエクスカージョンの両方から理解を深めることを目的とします。 キーワード: 地学的遺産、ジオツーリズム、筑波山地域ジオパーク	公開講座として開催します。一般参加者方と学生とが一緒に学ぶ形式の授業です。10/13-10/14に開講予定。 10/13-10/14
02JZ025	サイエンティフィック・ジャーナリズム	1	1.0	1 - 5	春ABC	随時		和田 洋	プロフェッショナル サイエンスライターの直接の指導を受けながら、自然保護寄附講座のイベント報告などを作っていき、文章構成力などを習得します。プロによる直接の添削を受けることで、プロの技を学びます。	【授業開催日】 10/19、3/12
02JZ026	自然保護特別講義1(科学と社会のコミュニケーション)	1	1.0	1 - 5	夏季休業中	集中	人社 B216	武 正憲, 早岡 英介	自然番組や科学番組の制作経験のある早岡英介氏による講義	
02JZ027	自然保護特別講義2(Nature-Culture Linkage Workshop)	1	1.0	1 - 5	夏季休業中	集中	人社 B216	吉田 正人	Nature-Culture Linkageの講義	英語で授業。
02JZ102	海域フィールド実習	3	2.0	1 - 5	秋C	集中		和田 茂樹, 武 正憲	下田臨海実験センターにおける海洋自然体験活動実習。普段の生活の中では、海はその表面しか見ることができない。しかし、海の自然を知り保護していく上で、海の中の生物や環境を詳しく知ることが不可欠である。本実習では、実際に受講生が海の自然を体験し、その中でどのような生物・環境が生態系を構築しているのかを洞察することを目標とする。自然を保護するためには、実際にどのような環境や生物が自然の生態系を形作っているかを知らなければいけない。本実習では、下田臨海実験センターで実際にフィールド調査を実施し、海の生物や環境の複雑さ・奥深さを学ぶ。	船舶調査、磯観察、伊豆半島海岸の国立公園視察などを予定しているが、人数・海況・天候やその他の事情を考慮して内容は変更する可能性がある。宿泊・食事代は約6000円、交通費は筑波⇄下田間が約15000円。尚、安全管理上の都合のため、参加人数は最大15名とする。開講:下田臨海実験センター 船舶調査、磯観察、伊豆半島海岸の国立公園視察などを予定しているが、人数・海況・天候やその他の事情を考慮して内容は変更する可能性がある。宿泊・食事代は約6000円、交通費は筑波⇄下田間が約15000円。尚、安全管理上の都合のため、参加人数は15名を最大とする。
02JZ106	Project Practice in Natural Heritage	7	2.0	1 - 5	春季休業中	集中		吉田 正人, 佐方 啓介, 佐伯 いく代	By carrying out field studies at an identified site outside Japan, we shall learn what is actually at stake in identifying with our own eyes the issues and challenges, who are the actors, what are their respective roles, and how consensus-building is made for a chosen solution for the better of balancing heritage conservation and sustainable development.	01EC564と同一。 英語で授業。 含野外調査 オーストラリア・タスマニア島、タスマニア大学との合同実習
02JZ107	陸域フィールド実習1	3	1.0	1 - 5	春学期	集中		上條 隆志, 佐伯 いく代	筑波山(6月) 八ヶ岳(7月、3泊4日)	
02JZ108	陸域フィールド実習2	3	1.0	1 - 5	秋AB	集中		佐伯 いく代, 上條 隆志	筑波周辺の身近な自然と里山 10-12月 計4日(02JZ107「陸域フィールド実習1」を一緒にとることを推奨する)	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JZ109	保護地域・野生生物管理実習1	2	1.0	1-5	夏季休業中	集中		武正憲, 佐方啓介, 伊藤太一	<p>国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域や野生生物管理の実態を体験する。人と自然・保護地域の接点における自然保護活動の現場より、実践的な管理理念や手法を体験する。 I は保護地域内を主な実習対象地とする。</p> <p>Will visit protected areas such as National Parks and Biosphere Reserves, and experience practical aspects of protected area and wildlife management. Students will be experience approaches and techniques to tackle practical conservation issues at the human-nature interface. I will be focused on topics within protected areas.</p> <p>要件:02JZ003(保護地域管理論)、あるいは02JZ007(Wildlife Management)を履修。 夏季休業中集中 9月-10月を予定。 事前学習や宿泊、事後の発表などを1・2で合同して行う場合がある。</p> <p>Requirement: Students to register for Protected Area Management (02JZ003) or Wildlife Management (02JZ007). Scheduled for Spring C semester: September/October (4-day trip). Operation may be combined/coordinated with 02JZ110.</p>	9/6-8 南アルプス他(2泊3日)
02JZ110	保護地域・野生生物管理実習2	2	1.0	1-5	夏季休業中	集中		佐方啓介, 武正憲, 伊藤太一	<p>国立公園やエコパークなどの保護地域を訪れ、保護地域や野生生物管理の実態を体験する。人と自然・保護地域の接点における自然保護活動の現場より、実践的な管理理念や手法を体験する。 II は保護地域周辺地域を主な実習対象地とする。</p>	要件:02JZ003(保護地域管理論)、あるいは02JZ007(Wildlife Management)を履修。 事前学習や宿泊、事後の発表などを1・IIで合同して行う場合がある。 9/4-6 南アルプス他(2泊3日)
02JZ111	自然保護特別実習1	2	2.0	1-5	夏季休業中	集中		吉田 正人, 稲葉 信子	Nature-Culture Linkageの実習	英語で授業。
02JZ112	自然遺産実習	2	2.0	1・2	夏季休業中	集中		吉田 正人, 武正憲	自然遺産地域における現地調査を通じて、自然遺産地域の保全と管理、およびそれに対する地域住民や専門家の参加について学ぶ。	01EC539と同一。 小笠原諸島父島(5泊6日)
02JZ113	自然保護特別実習2	2	2.0	1-5	通年	随時		佐伯 いく代	国際シンポジウムの企画運営を通じ、自然保護に関わる関係者とのコミュニケーションをはかり、主体性、協調性、国際性、リーダーシップなどの実践能力を養う。	開講予定なし 11/23 他 シンポジウム企画運営 11/23他
02JZ201	短期インターンシップ	3	1.0	1-5	通年	随時		佐方 啓介, 佐伯 いく代	国、地方自治体、自然保護団体等、主に国内におけるインターンシップ(1ヶ月未満)	おおよそ1ヶ月未満(実働日数10日) おおよそ1ヶ月未満、(実働日数10*20日)
02JZ202	中期インターンシップ	1	2.0	1-5	通年	随時		佐方 啓介, 佐伯 いく代	国、地方自治体、自然保護団体、国際援助機関等、国内外におけるインターンシップ(1ヶ月以上、3ヶ月未満)	おおよそ1ヶ月以上、3ヶ月未満(実働日数20日) おおよそ1ヶ月以上、3ヶ月未満、(実働日数21*60日)
02JZ203	長期インターンシップ	3	3.0	1-5	通年	随時		佐方 啓介, 佐伯 いく代	国連機関、国際援助機関、自然保護団体等、主に海外におけるインターンシップ(3ヶ月以上、1年以内)	おおよそ3ヶ月以上、1年以内(実働日数40日以上) おおよそ3ヶ月以上、1年以内、(実働日数61日以上)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
02JZ204	海外インターンシップ	3	5.0	1 - 5	通年	随時		吉田 正人, 佐方 啓介	自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することのできる学生を育てることがあります。国際自然保護連合(IUCN)や国連教育科学文化機関(UNESCO)、生物多様性条約事務局等の海外に事務所をおく国際機関において、一定期間以上、海外に渡航して、インターンシップを行う海外インターンシップに対して、インターンシップ報告書、受け入れ団体の評価に基づいて、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「インターンシップ制度について」の通りですが、IUCNインターンシップの場合、毎年概ね2月から世界遺産委員会が開催される6-7月までの6ヶ月間、スイスのグランに居住し、IUCN世界遺産プログラムにおいて世界遺産委員会の準備と委員会中のイベントなどの支援を行います。	英語で授業。 6ヶ月(IUCN)
02JZ205	海外自然保護特別研究	6	3.0	1 - 5	通年	随時		吉田 正人, 佐方 啓介	自然保護寄附講座開講の趣旨として、国際的な視野を持ち、自然保護の現場で活躍することのできる学生を育てることがあります。筑波大学と国際交流協定を結んだ大学において、自然保護に関する研究を目的に留学する学生に対して、留学中の授業のみならず、現地の自然保護に関する事例研究を行い報告書を提出することを条件に、標記の単位を与えるとともに、旅費、滞在費の支援を行います。詳細は「海外留学について」の通りですが、オーストラリアのタスマニア大学の場合、毎年2月末から6月はじめにかけて、自然保護地域の管理に関する授業があります。また秋学期にも環境関連の授業があります。	英語で授業。